

2017年5月14日(日)朝10:10
5月第2母の日共同主日礼拝式説教

主の復活節第5、ワックス塗り等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：第7のラツパ;信仰を守る者の忍耐

聖書:ヨハネの黙示録 14章9～12節

＜口語訳＞

新約聖書400頁

ヨハネの黙示録 14章9～12節

＜新共同訳＞

新約聖書468頁

ヨハネの黙示録 14章9～12節

＜新改訳第3版＞

新約聖書492頁

ヨハネの黙示録14章9～12節

＜塚本訳＞

新約聖書806～807頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と天の大讚美、6～9章は、巻物開封、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦い、13章1～10節は、龍(悪魔・サタン)礼拝を求める第一の獣との、11～18節は、第二の獣との戦い、1～5節は、天での小羊なる主への大讚美、6～7節は、神の福音と地上の諸国への裁き宣告、8節は、バビロン倒壊の宣告の箇所です。
- ◇ヨハネの黙示録14章9～12節は、神無視の人々への裁きと信仰者への忍耐の求め。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第14章9～12節から
主の使信に思い・心をとめます。

◆黙示録14章9～11節；ヨハネは、獣や龍
(悪魔・サタン)礼拝者への限りない苦痛予告
の幻を啓示された。

◇9～12節；塚本訳◆刑罰の予告
{第四の異象}

「9 するともう一人(他の)、第三の天使が彼ら
に続いて大声に言うた、「もし獣とその像と
を拝み、額かあるいは手に(その獣の名の)
印を受くる者があれば、

10 その人もまた神の怒りの酒杯に注がれた
雑なき神の憤怒の葡萄酒を飲み、且つ
聖なる天使の前と仔羊の前とにおいて、
(永遠に)火と硫黄で苦しめられるであろう。

11 彼らの苦痛の煙は永遠より永遠に立ち
上がって、獣とその像とを拝む者、また、誰
でもその名の印を受くる者は(これに苦しめ
られ、彼らは)昼も夜も休息を得ることが
無い。」と、ヨハネは、獣、龍礼拝者への裁
きと聖徒への信仰による忍耐の啓示受領。

◇9～11節；ヨハネは、「**第三の天使が彼らに続いて大声に言うた**」、「もし獣とその像とを拝み、額かあるいは手に(その獣の名の)印を受くる者があれば、神の怒りの酒杯に注がれた雑なき神の憤怒の葡萄酒を飲み、且つ聖なる天使の前と仔羊の前とにおいて、(永遠に)火と硫黄で苦しめられる」、「彼らの苦痛の煙は永遠より永遠に立ち 上がって、獣とその像とを拝む者、また、誰でもその名の印を受くる者は(これに苦しめられ、彼らは) **昼も夜も休息を得ることが無い**」と告げる幻を記録しました。

⇒神は、「**獣礼拝**」が**怒り**をもって取り扱つかわれておることを知らされます。

⇒しかも、最も恐ろしいことは、「**昼も夜も休息を得ることが無い**」(11)、すなわち、死からも見放されるほどの裁きなのです。

⇒一般には、人間にとって「**死ぬ**」ことが、凡ての終わりと考えられていて、その死のさきはないのです。

⇒ヨハネ黙示録は、「**死**」の先の**永遠の滅び**を問いかけているのです。

⇒「**神の怒りの酒杯**」、「**神の憤怒の葡萄酒**」を飲まされると、「**(永遠に)火と硫黄で苦しむ**」ことになる、と予告されています。「**葡萄酒**」は、イスラエルの人々にとっては、過越祭、五旬祭とともに、三大祭の最後を締めくくる仮庵祭の目玉は、「**葡萄の初穂**」を**神**にささげることで、苦難をエジプトで背負った中から救い出されて、**神の約束の地**に入り、斥候が最初に持ち帰ったのが、「**大きな葡萄**」でした。

⇒「**葡萄**」は、**神の祝福**のしるしであったのですが、今や「**神の怒り**」のしるしに変えられているというのです。

⇒「**神の憤怒の葡萄酒**」を飲んで、「**苦痛の煙**」によって、「**苦しめられる**」には、「**獣とその像とを拝む者、また、誰でもその名の印を受くる者**」、すなわち、「**獣**」の圧力と誘惑に負けて、妥協し、その額に「**獣の印・666**」を刻印された者たちなのです。

⇒今日に置きかえると、「**聖書の神**」のことばより、自分の欲望に従った者の裁かれる姿を見るのです。

⇒「**神なき人生に何があるか**」を問われている。

◆ 黙示録14章12節 ;ヨハネは、**神の戒律とイエス(へ)の信仰に生きる者には、神の恵みと忍耐が与えられる幻を啓示**されました。

◇ 9 ~ 12 節 ; 塚本 訳 ◆ **刑罰の予告**
{**第四の異象**}

「12 ここに**聖徒達、(すなわち)神の戒律とイエス(へ)の信仰を守る者の忍耐がある。**」と、ヨハネは、**神の聖徒への求め**を啓示されました。

◇ 12節 ; 「**聖徒達、(すなわち)神の戒律とイエス(へ)の信仰を守る者の忍耐**」は、「**獣礼拝・竜礼拝**」を拒んで、「**苦痛**」や「**苦難・迫害・死**」を背負わされた人々への問いかけで、現実苦しんでいる人々が、「**神信仰による忍耐**」の継続を求められているのです。

⇒ **マタイ10:22、26、28** ; 「22 **あなた達はわたしの弟子であるために皆から憎まれる。しかし最後まで耐え忍ぶ者は救われる。**
26 **だから彼らを恐れるな、(すべてはじきに明らかになるであろう。)覆われているものであらわされないものではなく、隠れているもので(人に)知られないものはないからである。**

28 体を殺しても、魂を殺すことの出来ない者を恐れることはない。ただ、魂も体も地獄で滅ぼすことの出来るお方を恐れよ。」

⇒ローマ12:19~21;「19 愛する者たちよ、自分で仕返しをするな、(裁きの日の神の)怒りにまかせよ。こう書いてあるではないか、「主は言われる、『仕返しはわたしのもの、』わたしが『報いをする』と。」 20 むしろ、『あなたの敵が飢えているなら、食べさせてやれ。渴いているなら、飲ませてやれ。こうするのはその頭に炭火を積むことであるから、(いつかは恥じて悔改める。)] 21 悪に勝たれるな、善によって悪に勝て。」

⇒「**神の戒律とイエス(へ)の信仰を守る者の忍耐**」は、「**復讐**」を自ら行わないで、「**神の復讐**」にお任せすることを含んでいますし、積極的に言い換えれば、「**神を愛するように、あなたの隣人を愛する**」ことです。

⇒これに勝る「**神の戒律**」は、ありません。

⇒「**神の御子イエス様**」への信仰は、その生き方を知ることになりますように、「**神の義**」に「**神信仰と神の恵みにとどまる忍耐**」で服従です。

結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と天の大讚美、6～9章は、巻物開封、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦い、13章1～10節は、龍(悪魔・サタン)礼拝を求める第一の獣との、11～18節は、第二の獣との戦い、1～5節は、天での小羊なる主への大讚美、6～7節は、神の福音と地上の諸国への裁き宣告、8節は、バビロン倒壊の宣告の箇所です。

◇ヨハネの黙示録14章9～12節は、神無視の人々への裁きと信仰者への忍耐の求めです。

⇒「**神の栄光の御座**」での「**24人の長老**」と「**4つの生き物**」の**神礼拝・神讚美**は、「**主キリスト・イエス様が天のみならず、地の上・この世でも、王となり給うたことを感謝**」する結末を与えられています。

⇒地上に今生かされています私たちも、「**神礼拝・神讚美**」は、この幻のように実現することを信じて、「**主がこの世の王となり給うたことを感謝**」すると、告白しています。

⇒「**死**」という最大の苦難を思う前に、「**恵みの約束の神**」に思いを向けたいと、願います。

⇒ヨハネ黙示録は、「**苦難**」先にある「**神の救い**」という「**神の恵み**」を見せ、また指し示します。

⇒「**龍(悪魔・サタン)**」は、「**神のようになる**」目的を放棄していませんで、「**天では**」、「**彼らの(いる)場所が無くなった**」のですが、投げ落とされた地上で、「**神礼拝者・神信仰者**」を「**訴える本務**」を放棄することはしません。

- ⇒**神は、144,000人の殉教者の訴える祈り、を聞き、「獣礼拝者・龍(悪魔・サタン)礼拝者」とその誘惑に負けた人々に「神の怒り」をもって、復讐して下さるのです。**
- ⇒**決して、神の怒りに先立ち、「獣礼拝者・龍(悪魔・サタン)礼拝者」とその誘惑に負けた人々を裁かず、むしろ、その罪・咎に気づけるように執成しをすることが求められています。**
- ⇒**ヨハネを始めとする教会は、神の赦しの恵みに与り、「神の義の衣」なる「神の御子の義」を着せられたのですから、神信仰と神の恵みの下にとどまり続ける忍耐によって、神に対して生きる者でありたいと願います。**
- ⇒**マタイ24:13~14;「13 しかし最後まで耐え忍ぶ者は救われる。 14 すなわち、あらゆる国々の人に(わたしとわたしの業を)証しするために、(まず)この御国の福音が全世界に説かれ、それから最後(の裁きの日)が来るのである。」**